



一〇一六年度の関東青雲、
あんなつと、こんなつと。

Vol.02
2017



■発行日:平成29年(2017年)3月31日 ■発行責任者:幹事長 横井 透
■事務局:〒106-0045 東京都港区麻布十番1-7-8 宮下ビル402号
■事務局携帯電話:080-7009-2975 ■事務局FAX:03-6804-5085
■事務局メール:info@kantouseiun.com

青雲 真っ盛り

「やんや、会報は出さねーのがい?」

「んだ! 今年は“真っ盛り”でいぐべ」

こんなやりとりが、あったかどうかはさておき、

二年ぶりに「青雲真っ盛り」の発行です。

2016年度の同窓会、各期の楽しそうな同期会、

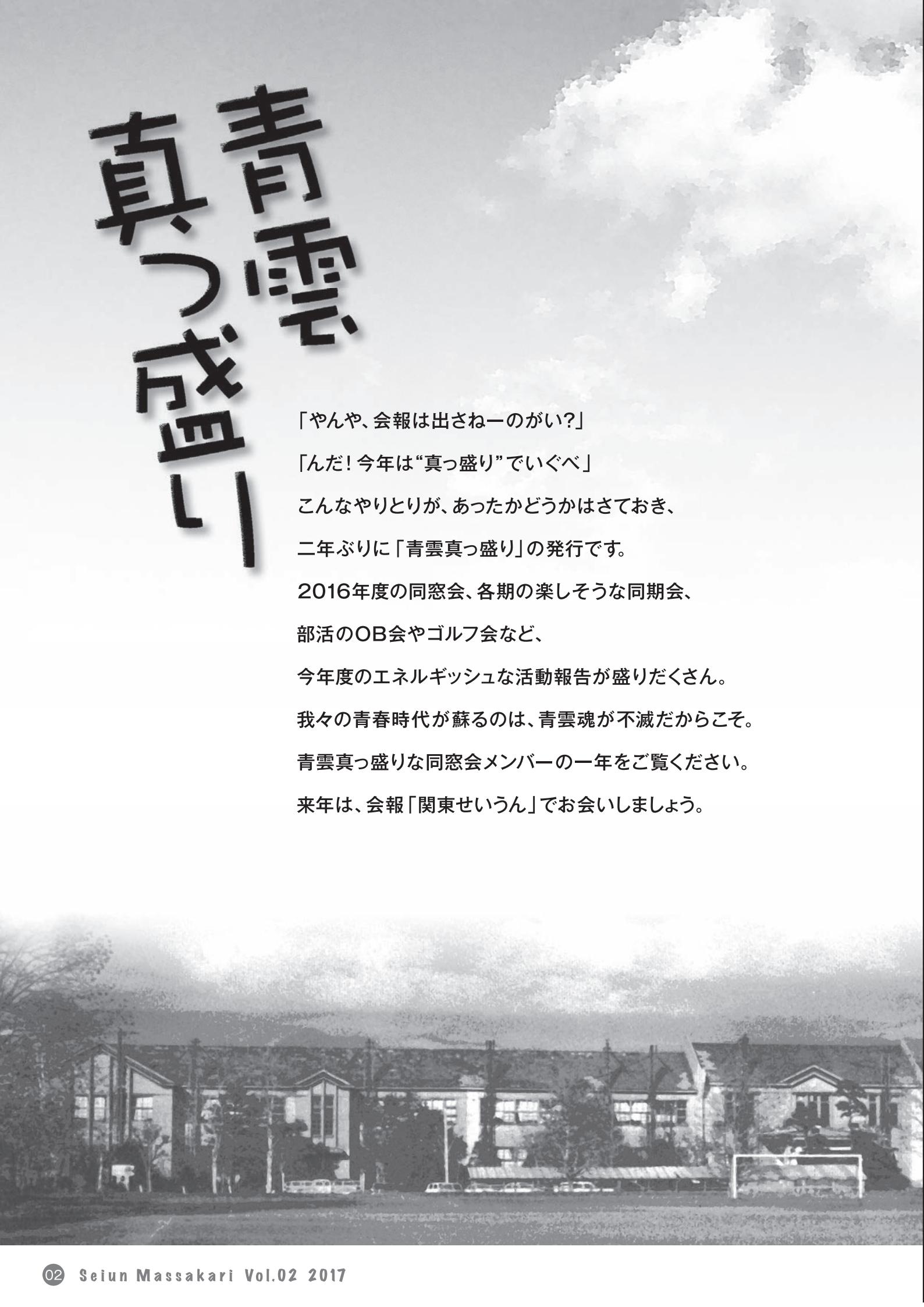
部活のOB会やゴルフ会など、

今年度のエネルギーッシュな活動報告が盛りだくさん。

我々の青春時代が蘇るのは、青雲魂が不滅だからこそ。

青雲真っ盛りな同窓会メンバーの一年をご覧ください。

来年は、会報「関東せいうん」でお会いしましょう。





新体制について

会長

檜森 元元
(東高16回生)

当会Webサイトでも紹介しておりますが、中村名誉会長が、戸田市が制定した名誉市民に選ばれました。また、埼玉県から全国の選考で、「渋沢栄一賞」を受賞されました。さらに、奨学金返還問題に鑑み、これから勉学に励みたい若者たちに勉学の機会を与えるとの思いから、函館市に対してご寄付を行いました。いずれも、我が関東青雲同窓会の誇りであると思います。尊敬する中村名誉会長のご健勝を祈念しております。

さて、今年は役員改選期を迎え、総会で会員の皆様のご承認をいただき新体制へと移行いたします。急激な時代変革の中、当会も大きなうねりの中�습니다。中村名誉会長や先人の方々の熱き想いを引き継げるよう組織の改定を含む改革の提案をいたします。

その一は、永久会員の皆様に対するお願いです。永久会員の会則を変更して、既に十数年が経過しました。この制度を改定したのは、財政問題のためです。前会長の新山氏の時代に検討し、制度をなくしたもの、この先の財政状況をシミュレーションしたところ、かなり深刻な状況になります。現在の永久会員は、会員全体の15%を占めています。既に社会で成功を収めている諸先輩に年会費2,000円の拠出を改めてお願いします。諸先輩の中には、ご存じの通り総会時に物品提供していただいたり、抽選会景品として品物を提供していただいたり、ご協力いただいております。

深く感謝しておりますが、その上で伏してのお願いです。

その二は、通信方法と費用の節約に関する提案です。以前から少しづつPC利用による通信費の節約に取り組んでまいりましたが、ネットワークの安全管理体制を勘案して方針転換に踏み切る所存です。勿論、その環境にない方には従来通りの方法を取りますが、将来は会報などもWebサイトによる閲覧、ダウンロードを考えております。従って、最終的に会員の皆様のアドレス登録を含む調整に入ります。しばらくは過渡期的状況になると思いますが、ご協力をお願いします。

その三は、現在の執行部体制の効率化と実行力の強化です。現在、会長1名、副会長4名、幹事長1名の三役6名体制ですが、これを会長1名、副会長1名、幹事長1名の3名体制とします。幹事長のもとには、事務分担ごとに副幹事長4名を置き、総務、企画、広報、名簿管理などのエキスパートとして機能します。さらに、同窓会発展のための様々なアイディアを反映させるべく、ワーキンググループの設置も行う方針です。

会員の皆様には、勝手に搔き回している感アリと思う方もおられると思いますが、誰かがどこかのタイミングで実行しなければならないこととご理解ください。今、当会の若手グループが動き出しています。不都合があれば、その都度、軌道修正すれば良いと思います。

どうぞ会員の皆様のご理解、ご協力を願います。



2016年 総会 報告

東高34回生 担当幹事期を終えて

前幹事期代表 宮川 博昌
(東高34回生)

2016年5月28日の総会は、「目黒雅叙園で応援団を復活させたい」と数年前から決めていました。これは、四年前に関東青雲同窓会に参加するようになってから抱いていたテーマ設定でした。四年に渡って参加した新年会や納涼会でも、ご列席の諸先輩方が校歌を嬉しそうに合唱しているお姿がとても印象的だったので「これが同窓会のメインイベント」と感じ、我々の応援団復活のシナリオ作りは始まりました。

幹事期までの四年間、年度に一度の同期会補助金制度を利用し、コツコツと一万円を積み立てて、応援団長の袴セットや学ランの代金にしました。また、その間どんどん同期のネットワークも北から南へと広がり、それと共にみんなの気持ちもどんどん盛り上がり「同期で何か作らないか」ということにも発展していきました。そして製作したのが「法被・ポロシャツ・缶バッヂ・ピンバッヂ・巾着袋・マウスパッド」です。このノリは青雲祭そのものですね。

同期グッズを製作するからと言っては打ち合わせと称する飲み会、演出のクイズ問題を考えると言つては打ち合わせと称する飲み会、会場で飲んでいただくオリジナルカクテル「青雲の志」を考えると言つては打ち合わせと称する飲み会…。ほとんど毎月一回のペースで飲み会を行い、我々の高校四年生ワールドは出来上がっていったのでした。

今でも月一ペースで飲むようになった私たちは、関東青雲同窓会での幹事期をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。各開催会では気になる点も多々あったかと思いますが、楽しい充実した一年をプレゼントしていただき本当にありがとうございました。

■2016年(平成28年)5月28日(土) 17:30~

■目黒雅叙園〈夢扇〉

出席者は7ページをご覧ください。

檜森会長お気に入りの
ハッピ姿であいさつ





2017年 新年会 報告



幹事期代表 小松 慎司
(東高35回生)

皆さん、こんにちは。幹事期で代表を務めています小松です。2017年1月28日(土)に開催した新年会の報告をします。場所は昨年と同じ「クルーズクルーズ(池袋サンシャイン60)」で開催しました。会場は、田村さん、山崎さんに協力してもらい、8月からインターネットでの事前調査を行い、条件にあったものは直接訪問して本調査しました。そして開放感があり見晴らしもよく、料理を個別に給仕してもらえるなどの好条件から決定しました。

当日は、90名以上の参加で大盛況でした。会に先立って恒例の記念撮影でしたが、当初から懸念していた通り奥行きが足りず、急遽セッティング済みのテーブルを移動するというハプニングはありました。塩越さんの司会で会が始まり、檜森会長のご挨拶、市高2回生の小山様から乾杯のご発声を頂きました。檜森会長のご挨拶の中では、中村名誉会長の渋沢栄一賞受賞などが紹介されました。

しばしの歓談後、恒例の抽選会です。景品はできるだけ函館や東高に関連があるものにしようということで幹事期なりに工夫し、「コアップガラナ」「活裂焼鳥賊(35期 青山さんご提供)」「東高オリジナルラベルビール」「北海道干物詰め合わせ」等を準備し、特別賞として中村名誉会長賞、井部勉賞、檜森会長賞を加えた

49個の景品が当たる大抽選会となりました。続いて、校歌、応援歌の齊唱です。幹事期で東高最後の応援団長の山形さん、立花さんの迫力ある演舞で会場が一体となり大いに盛り上りました。中締めは東高24回生の千歳副会長にお願いし、無事お開きとなりました。

さあ、次は5月27日(土)、大手町のサンケイプラザで開催する総会です。皆様のご参加をお待ちしています。

■2017年(平成29年)1月28日(土) 12:00~
■池袋サンシャイン60 58階〈クルーズクルーズ〉
出席者は7ページをご覧ください。



2016年度 総会・新年会に出席した同窓生



2016年(平成28年) 総会 出席者(敬称略)

●ご来賓(役職は当時のものです)

岸 寛樹 青雲同窓会函館本部常任幹事 東高42
 斎藤 晋吾 青雲同窓会札幌支部副支部長 東高22
 松崎 勝則 青雲同窓会札幌支部副支部長 東高23
 澤谷 輝 東海青雲同窓会会长 東高11
 大海 幸三 関西青雲同窓会会长 東高22
 柳谷 瑞恵 函館市観光部次長
 安田 康次 函館中部高校白楊ヶ丘同窓会東京支部支部長
 竹澤 秀明 函館西高校つゝじヶ丘同窓会学年幹事長
 汐谷 進 函館商業高校東京函商同窓会会长
 本間 和吉 函館工業高校同窓会関東支部支部長

市中1 井部 勉
 市中1 近藤 國彥
 市中5 池田 義夫
 市高2 小山 光
 市高2 沼崎 貞良
 東高1 登坂 幸作
 東高2 成田 恭子
 東高2 金子 洋子
 東高7 日比野 朋子
 東高9 浅本 貞子
 東高9 保坂 好昭
 東高10 木島 三樹男
 東高10 朝倉 敏夫
 東高10 伊閔 直美
 東高10 小林 渡洋雄
 東高10 中野 文子
 東高10 金柿 陽子
 東高10 舟坂 美以子
 東高10 藤井 英司
 東高10 廣川 勝代
 東高11 瀬尾 勝之
 東高11 秋田 晋
 東高11 新山 春一
 東高11 三上 高
 東高12 杉本 常三郎
 東高12 鈴木 雅子
 東高12 佐藤 妙子
 東高12 浅野 皓司
 東高12 平野 卓彌
 東高12 品川 弘子
 東高16 山崎 英貴
 東高16 近藤 真理江

東高16 北村 幸子
 東高16 宮下 日出夫
 東高16 檜森 兄元
 東高16 板倉 恵美
 東高16 小杉 茂美
 東高16 山本 真里子
 東高18 北原 恵一
 東高19 小川 利勝
 東高21 釣谷 勝
 東高23 高橋 喜宣
 東高24 吉川 篤明
 東高24 千歳 芳充
 東高24 竹内 清
 東高24 金谷 正夫
 東高25 高橋 秀子
 東高25 石橋 美保
 東高25 藤本 智志
 東高25 森田 菜穂子
 東高26 紀國 仁
 東高26 佐藤 司
 東高26 奥山 智美
 東高27 米坂 知昭
 東高27 駒木根 淳
 東高27 上口 孝之
 東高28 森 秀暁
 東高28 多田 恒
 東高29 村山 雄一
 東高29 大久保 実香
 東高29 竹村 治彦
 東高29 貴戸 希代子
 東高29 中村 浩之
 東高29 村田 学

東高29 刀祢 聰
 東高29 大山 久人
 東高30 吉村 宗則
 東高30 古川 清志
 東高30 吉野 納
 東高30 圓井 恵里子
 東高30 管 麻子
 東高30 落合 浩一
 東高30 竹内 修
 東高30 中川 孝子
 東高30 白瀬 智子
 東高30 本田 恒
 東高30 藤塚 雅之
 東高30 片貝 祐子
 東高30 高橋 準二
 東高30 波岡 伸一
 東高30 小原 ゆかり
 東高30 橋本 裕美
 東高30 横井 透
 東高30 谷本 由紀美
 東高31 小早川 明也
 東高31 菊田 直美
 東高31 宇野 玲子
 東高31 加茂 千恵子
 東高31 塚田 善彦
 東高31 松田 広司
 東高32 金森 瞳子
 東高32 赤間 美樹
 東高32 三上 紀子
 東高32 滝澤 美香子
 東高32 栗本 亮
 東高32 石田 伸
 東高32 矢尾板 順一
 東高32 高田 利子
 東高32 濱方 弥生
 東高32 河田 整一
 東高32 金澤 慎司
 東高33 北村 雅樹
 東高33 霞 修治
 東高33 真田 美苗
 東高33 西岡 由紀子
 東高33 吉田 まどか
 東高33 平野 秀人
 東高33 栗本 千佳子

東高33 小松 卓郎
 東高33 上村 剛
 東高34 辻 峰子
 東高34 堺田 志保子
 東高34 薄田 香
 東高34 上村 卓
 東高34 渡辺 至高
 東高34 梶原 積
 東高34 宮川 博昌
 東高34 土肥 健作
 東高34 椎田 隆雄
 東高34 安藤 務
 東高34 佐藤 則之
 東高34 小室 博之
 東高34 山本 静
 東高34 川上 晓子
 東高34 河邊 則宏
 東高34 藤澤 ゆかり
 東高34 逢見 依子
 東高34 秋田谷 美絵
 東高34 蓬潟 友美
 東高34 佐藤 臨太郎
 東高34 本間 丈夫
 東高34 一條 豪真
 東高34 佐藤 信吾
 東高34 関戸 利加
 東高34 西村 真樹
 東高34 石塚 由美子
 東高34 吉澤 史也
 東高34 山田 宜裕
 東高34 長崎 桂子
 東高34 落合 美姫
 東高34 田原 浩一
 東高35 川崎 都子
 東高35 田村 秀規
 東高35 濱野 珠江
 東高35 立花 史博
 東高35 小松 慎司
 東高35 島本 肇
 東高35 島本 なおみ
 東高35 畑中 正視
 東高35 山形 歩
 東高35 立花 忍
 東高35 山岸 ゆり花

2017年(平成29年) 新年会 出席者(敬称略)

市中1 近藤 國彥
 市中1 井部 勉
 市中5 池田 義夫
 市高2 小山 光
 市高2 渡辺 晃
 東高9 福崎 正春
 東高10 小林 渡洋雄
 東高10 金柿 陽子
 東高10 古谷 桂子
 東高10 木島 三樹男
 東高10 伊閔 直美
 東高10 廣川 勝代
 東高11 瀬尾 勝之
 東高11 三上 高
 東高12 鈴木 雅子
 東高12 杉本 常三郎
 東高12 平野 卓彌
 東高12 伊藤 清治
 東高12 近江 一彦
 東高15 中川 和彦
 東高16 小杉 茂美
 東高16 宮下 曜
 東高16 笠巻 哲昭
 東高16 近藤 真理恵

東高16 檜森 兄元
 東高16 北村 幸子
 東高16 原岡 路子
 東高24 千歳 芳充
 東高25 藤本 智志
 東高25 森田 菜穂子
 東高26 佐藤 司
 東高26 紀國 仁
 東高27 駒木根 淳
 東高27 米坂 知昭
 東高29 大山 久人
 東高29 貴戸 希代子
 東高29 刀祢 聰
 東高30 橋井 透
 東高30 中川 孝子
 東高30 波岡 伸一
 東高30 古川 清志
 東高30 吉村 宗則
 東高30 落合 浩一
 東高30 中村 耕也
 東高30 吉野 納
 東高30 三宅 嘉子
 東高30 鶴賀 裕人
 東高30 橋本 裕美

東高30 片貝 祐子
 東高30 小原 ゆかり
 東高31 小早川 明也
 東高31 塚田 善彦
 東高31 加茂 千恵子
 東高31 宇野 玲子
 東高32 金森 瞳子
 東高32 赤間 美樹
 東高32 栗本 亮
 東高32 石田 伸
 東高33 上村 剛
 東高33 北村 雅樹
 東高33 霞 修治
 東高33 高橋 聖子
 東高33 西岡 由紀子
 東高33 真田 美苗
 東高33 小松 卓郎
 東高34 佐藤 則之
 東高34 椎田 隆雄
 東高34 辻 峰子
 東高34 土肥 健作
 東高34 宮川 博昌
 東高34 堺田 志保子

東高34 本間 丈夫
 東高34 小室 博之
 東高34 西村 真樹
 東高34 篠原 伸宏
 東高34 河邊 則宏
 東高35 田村 秀規
 東高35 小松 慎司
 東高35 島本 肇
 東高35 島本 なおみ
 東高35 濱野 珠江
 東高35 畑中 正視
 東高35 立花 史博
 東高35 立花 忍
 東高35 山形 歩
 東高35 山岸 ゆり花
 東高35 山岸 彰叙
 東高35 小川 真臣
 東高35 川崎 都子
 東高35 青嶋 宏
 東高35 塩越 佳奈

2016年度もたくさんの同期会やOB会などが開催されました。 (開催日順)

34回生〈昭和59年卒〉

2016年4月2日・東京市ヶ谷にて

2016年4月2日、昨年に続き花見会を開催しました。今年は幹事年でもあり次回の総会懇親会の打合せを兼ねての開催となりました。実行日を決めたのが3月中旬。この頃から日毎の寒暖差が広がり、桜の蕾はみるみる膨らみはじめて、当日には開催場所の市ヶ谷土手は満開、絶好の花見日和となりました。

当日は早朝薄暗い中から、場所取り担当が午後2時開始に向けロケーションの選択、相当量の段ボールで下地を作りシートで陣地確保。開始時間までには各分野に手分けされた物資調達班が酒肴を持ち寄って集合しました。用意されたのは北海道産のシシャモやザンギその他、ついでに現地調理も加わり、また、料理上手な同期による冷めてもおいしい手料理もふんだんに用意されて、運動会のお弁当を彷彿とさせるアウトドアの醍醐味を感じさせるものでした。更に、手作りおにぎりのうち1個だけ「激辛わさび明太唐辛子おにぎり」があたるイベントも。これは一発目で大当たりとなる強運の持ち主が登場しました。

また、今年1月に行われた「ふるさと祭り東京2016」での「函館いか踊り」と一緒に参加したイカガールも交じってい



■当日の参加者(女性はあえて旧姓で)

小室博之 吉澤史也 本間丈夫 河邊則宏 褐田隆雄
土肥健作 宮川博昌 田原浩一 吉田峰子 増川志保子

ただき一層花が咲きました。酒はそんなに要らないんじゃないの?と言しながらも、結局追加となるほど盛り上がりを見せ、周りの花見客も少なくなった午後8時頃まで現地での宴は続きました。このような花見会など同期が集えば楽しいもので、さらに皆と会えることの喜びからか、始まる前の構想や準備も全員で楽しんでやっています。総会懇親会に向けての打合せは、勿論きっちり行ったことをご報告いたします。

12回生〈昭和37年卒〉

2016年4月16日・東京有楽町にて

こんにちは。

おかげさまで4月16日(土)、有楽町の「あづま」にて12回生の同期会が開催されました。

今年は27名の参加者で、楽しくにぎやかに執り行うことができました。お料理も美味しく、同窓会からの援助金のおかげで美味しいお酒もいただき、とても満足でした。

12回生の幹事長の提案で、関東青雲同窓会の会計の御苦労も考え、12回生としてご寄付させて頂こうと集金いたしました。札幌、長野、群馬、千葉と遠方からの人も賛助してくれましたので、この場をお借りしてご報告いたしました。

有難うございました、また宜しくお願ひいたします。

■当日の参加者(計27名)

浅野皓二 伊藤政治 近江一彦 岩井 越後剛吉 小南正光 坂田周夫 佐藤妙子 佐藤哲夫 品川弘子 鈴木雅子
瀬戸秀勝 杉本常三郎 清藤ゆみ子 坂本護 爽倉 関寛 高山信一 田村義治 当津邦男 寺井正行 平山恵久子
平野卓彌 福山孝子 前田良彦 宮本崇 若杉正雄



10回生〈昭和35年卒〉

2016年4月23日・東京有楽町にて

東高10回生の東京支部同期会は、2016年4月23日(土)、有楽町鮮魚店「魚盛」で開かれました。毎年、16:00からと決まっていましたが、会員から開始時間を早く、という要望が多くなったため、今年から13:00開始に変更しました。東京支部32名に加え、函館本部から砂山政子新会長、三井洋新幹事長はじめ5名も参加し、計37名が集まりました。会場を貸切に出来た為、ゆったりとした落ち着いた雰囲気の中、東京支部を代表して朝倉顧問の挨拶から始まり、砂山会長の自己紹介を兼ねた挨拶、その後司会の指名で、時の人々の近況報告を挟みながら、美酒を味わい、



11回生〈昭和36年卒〉

2016年11月5日・東京上野にて

2016年11月5日、上野公園 旦妃樓飯店にて第35回同期会開催。21名出席、開始時間を12時半に設定、美術館、博物館を鑑賞後参加できるようにしたため好評でした。

あと1年で75歳になるため、同期会を解散するとの本部の意向も、東京支部は喜寿まで継続する事に決定。その後は、各自現況報告し、親睦を深め、15時に解散しました。



第35回東京36会支部会
2016年11月5日

生きの良い魚を賞味し、旧交を温め、15:30まで大いに交歓を楽しみました。同窓会からの補助金も、有効に使わせて頂きました。

今年は、初参加および久振りの参加者が、女性4名、男性1名で、計5名にも上り、結果として、参加者数はここ10年間で最大となりました。これは10期同期会のMLで、常時情報・意見交換をしている事、及び役員、幹事諸氏の同期会への熱心な勧誘活動の成果だと思います。

一次会の後、談話班16名とカラオケ班12名に分かれ、最後は談話班の一部が、カラオケ班に合流し、18:00まで二次会を楽しみ、来年の再会を約束して、お開きとなりました。

同期会 報告

市高2回生〈昭和19年入学〉

2016年11月8日・東京御徒町にて

恒例の同期会が11月8日(火)に、ホームグラウンドとして使っている御徒町の池田屋吉池食堂の「掘り炬燵個室」で開催されました。

かつては十数名の参加者のもとに開催された通称「青雲19年会」も、80才台半ばの高齢化に伴って、他界、歩行不自由、病気治療などで次第に参加者も減り、4ヶ月ぶりに開かれた今回は9名の参加者となっていました。

話題は、個々の病院通い事情から時事問題など広範に亘り、現在問題になっている「過労死」についても話がおよびました。

現在の日本がおかれている状況では考えられない、月100時間を超す残業や休日出勤もいとわず仕事に打ち込み、企業の業績が向上することが日本の国益に貢献し、それが我々の幸せに繋がると思いこんで働いてきた「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と言われた時代のモーレツ社員等の回顧談も熱気が帶びておりました。

延々と続く侃々諤々も3時間で中締めとなり、二次会の喫茶店へと席を移しました。

次回は、来年3月を予定しておりますが、参加者が減っても増えることのない「青雲19年会」開催を楽しみにしております。



2016/11/08

■当日の参加者(写真左から)

前列：富岡常夫 大原正澄 横田一郎 渡邊晃 松岡久夫
後列：足立雅美千 高木達夫 沼崎貞良 小山光

8回生〈昭和33年卒〉

2016年11月18日・東京上野にて

関東地区に在住する青雲同窓会の8回生は、約50名を確認しております。かつては世話を人のご尽力で定期的に会合を催していましたが、転居や移動で活動が停滞しておりました。3年前(2014年)より会員各位の要請で会合を再開いたしております。今年は再開3回目を迎えました。毎回20名前後の皆様の集まりになりますが、懐かしくあの少年、少女に戻ることに胸熱くなる集まりです。

再開第3回は会員が喜寿を迎える年に当たり、息災を祝う特別の年であります。加え青函トンネルを新幹線がついに走る年でもありました。連絡船で故郷をあとにして関東地区に住み着いた若人には、特段の想いがある年となりました。



再開第1回 ■H26年11月19日 19名 上野公園内 旦妃樓

再開第2回 ■H27年11月19日 22名 同上

再開第3回 ■H28年11月18日 21名 同上



30回生〈昭和55年卒〉

2016年12月3日・東京品川にて

タマ転がすも、
未だカラダ転がらず。

2016年12月3日(土)に、品川プリンスにて東高30回生(昭和55年卒)関東忘年会を開催しました。忘年会／宴会の部に先立ち、恒例となったボウリング大会を開催。北海道からはるばる駆けつけてくれた遠征組2名を含め、総勢26名が参加しました。幹事が練りに練ったハンデ戦での個人賞、チーム賞を懸けて、55歳を迎えた中年の集まりとは思えない程、熱くも和気あいあいとしたバトルが繰り広げられました。

宴会ではさらに4名が加わり30名に。幹事代表の横井君による進行のもと、ボウリング大会の賞品授与で大いに盛り上がり、その後、高校時代そのままの勢いで3次会へと突入して行きました。ボウリング初参加組、宴会からの初参加組、卒業以来という再会もありましたが、すぐに高校時代の思い出話に花が咲きました。改めて東高で充実した高校生活を送ることが出来たことに感謝し、今後も素晴らしい



仲間との交流を続けて行きたいと感じた忘年会でした。

30期では、サークルとしてゴルフ、写真(飲み会の口実?)、合唱(カラオケ)、釣り、スキー、馬術(馬術ではありません)など気心の知れた仲間とそれぞれの趣味を通じて、交流を深めています。その活動は、各部エスカレートするばかりです。

最後に、この場をお借りして、関東青雲同窓会の同期会補助金を有効に活用させていただいた事に感謝いたしますとともに、同窓生の皆さまのご健勝を祈念いたします。

■当日の参加者

明沢一男 圓井(秋山)恵里子 高橋準二 片貝(安達)祐子 吉村宗則 波岡伸一 三宅(三浦)嘉子 佐藤(南川)晴美
中村耕也 橋本(寺田)裕美 谷本(田中)由紀美 藤塚雅之 白淵(金丸)智子 三上(川端)しのぶ 竹内修
中川(前田)孝子 木村珠美 吉野毅 古川清志 本田恒 大山(五十嵐)清美 小原(吉田)ゆかり 管(寺中)麻子
横井透 浜野拓微 斎藤(佐野)敦子 北島治 千葉進一 鈴木良一 三浦(池田)裕子

35回生〈昭和60年卒〉

2017年1月21日・東京田町にて

2017年1月21日(土)に、新年会の打合せ後に、関東青雲同窓会の新年会幹事として新年会の予行演習(?)を開催しました。関東青雲同窓会への参加をきっかけに、同期での集まりが増え、連絡を取り合うメンバーは20名を超え、同期会では10数名が毎回参加して楽しく盛り上がっています。当日は田町のイタリア料理店で一次会をして、その盛り上がりのまま2次会に突入しました。

5月の総会に向けて、更に団結力を高めるためにも同期会の頻度を高めなければ??と考えています。



■当日の参加者

(女性はあえて旧姓で) 島本肇 田村秀規 本間真人 立花史博 山形裕之 山崎彰叙 小松慎司

村松ゆりか 塩越佳奈 島本なおみ 貞森歩 八巻都子

同期会 報告／その他の報告

16回生〈昭和41年卒〉

2017年2月4日・東京池袋にて



2017年2月4日(土)、「東京16会」を行いました。今年の同期会は、「チチ古希の会」と位置付け、もうすぐ70歳を迎えるタイミングでの会でした。

会場は、池袋の黒龍門。男性11名、女性11名、合計22名の参集があり、遠くは青森県弘前市や愛知県春日井市からの参加者もいました。

■当日の参加者

北村(伊藤)幸子 小杉茂美 諏訪内(石畑)治子 原岡(市川)路子 松林(五味沢)美智子 村川(伊豆)妥子 橋本縁郎
佐藤(中澤)悦子 宮下日出夫 牧野亨 越後信智 津田晃 木村(三条)久美子 近藤(福井)真理恵 高橋(久保)久雄
増野健一 丹藤(渕上)和子 笠巻哲昭 笠巻(佐藤)扶美子 西田(木村)恵美子 山崎英貴 檜森兄元

第6回 関東青雲吹奏楽団 (函館東高校吹奏楽部) OB会

2017年3月12日・東京池袋にて

関東在住の函館東高校吹奏楽部OBをメンバーとする関東青雲吹奏楽団OB会を、3月12日 池袋にて開催致しました。今回は、東京公演で上京された札幌交響楽団首席トランペット奏者の福田善亮氏(29回生)や、新しいメンバーも加え、大盛り上がりの3時間となりました。吹奏楽部での思い出話に懐かしさが込み上げ、また現在も色々な形で音楽に係っているメンバーからの報告は、新しい音楽との出会いのきっかけとなっているようです。

二次会では福田氏のフリューゲルホーンでの即興演奏に、食器やテーブルを使っての打楽器セクションも加わり、吹奏楽の醍醐味である「合奏」=「一体感」を味わいました。演奏しながら飲みたいね!ということで、次回は演奏できる会場での開催も検討しつつ、吹奏楽好きの集まりはこれからも年に2回ほどのペースで開催の予定です。



■当日の参加者

20回生 榎本周平(ユーフォニアム)
22回生 亀谷聰(テナーサックス) 葉原茂樹(ユーフォニアム)
25回生 佐藤克洋(ホルン)
26回生 朝倉早知子(パーカッション)
27回生 寺島真司(トランペット)
28回生 加藤史郎(パーカッション)
29回生 大山久人(ユーフォニアム) 飛田幸子(クラリネット)
福田善亮(トランペット) 村山雄一(トランペット)
30回生 本田恒(トロンボーン) 三宅嘉子(テナーサックス)
31回生 加茂千恵子(トランペット)
39回生 松田有紀子(フルート)

東高弓道部OB会

2017年3月25日・東京丸の内にて



3月25日(土)、東京丸の内で関東函館東高弓道部OB・OG会を開催しました。東高弓道部は創成期から団結力が強く、厳しい練習の合間には、現役、OB、顧問の先生方、みんな一緒に東高らしい「楽しいイベント」で交流を深めておりましたが、このOB会でも弓道部の伝統はしっかりと守られています。今回は参加者5名と小さな会でしたが、新たなメンバーも加わり、数十年前の思い出話から数日前の函館でのOB会報告まで、話は前後左右あらゆる方向に盛り上がり、大いに笑い、とても楽しいひとときとなりました。

次回は9月2日に決定!弓道部のみなさま、今すぐ予定に入れてくださいね!

■当日の参加者

26回生 岡みどり

27回生 米坂知昭

30回生 井村千佳子

30回生 鈴木良一

32回生 赤間美樹

第4回 中村隆俊杯争奪 関東青雲ゴルフ会

2016年11月9日・茨城県江戸崎CCにて



去る11月9日名門江戸崎CCにて5組(18名)で開催しました。当日は「木枯らし一号」で暴風警報が出る程の強風下でのプレーでした。

優勝は予想に反し不肖小生(沼崎貞良)でした。2位岡安さん(20回生)、3位伊関さん(10回生)ともに女性の実力者。他の3名の女性もすべて上位、「青雲同窓会の女性は強い」。

今回も中村名誉会長様より素晴らしい賞品を多数ご恵贈戴きました。2017年も秋には第5回を開催します。若手の皆さん是非ご参加ください。「ゴルフを通じ世代を超える友情の輪を広げよう」



関東青雲 凧揚げ＆バーベキュー

2017年1月15日・東京葛西臨海公園にて



■当日の参加者

12回生 平野卓彌

16回生 檜森兄元

20回生 太田知美 佐々木美幸

山本敏信 黒滝光子

堺秀子 越田悟

宮林葉子

31回生 秋山尚 原めぐみ

小早川明也 流博昭

宇野玲子 加茂千恵子

32回生 赤間美樹

33回生 上村剛 高橋聖子

北村雅樹 真田美笛

吉田まどか

20回生及び31回生を中心とする凧揚げ＆バーベキューを、昨年に続き、葛西臨海公園(西なぎさ 海風の広場)渚広場で開催しました。この行事は、函館東高校の名物先生である梅谷先生の凧を関東の空に揚げることをテーマに、

今年で4回目の開催となります。

この日の東京は強い寒気のため、最高気温は5℃。海風も加わり厳しい寒さの中での催しとなりましたが、凧揚げには絶好の風でした。悠々と大空に舞い上がり気持ちよさそうに泳ぐ凧の姿を眺めながら、改めて凧揚げの醍醐味を存分に味わいました。



メニューは定番のバーベキューや焼きそばの他に、温かいあら汁やラーメン、焼きマシュマロなども登場。また、熱燗やホットワインなどの人気が高く、寒さで冷え切った胃袋を温めてくれました。

あなたの街の 法律家

東京都行政書士会会員
(登録第08081051号)

行政書士

檜森 兄元

(東高16回生)

警備指導教育責任者(1~4号)
古物檜森事務所(古物商)
調査檜森事務所(探偵業)

〒141-0032 東京都品川区大崎5-7-14
五反田ロイヤルハイツ105号 Tel.03-3491-2977
Fax.03-3491-2087 携帯.090-2229-5372

昭和41年卒業 (函館東高16回生) 東京16会 会員一同

東京16会へのお申込は
k.himori@ap.wakwak.com

幹事名

笠巻 哲昭 山崎 英貴
北村 幸子(旧姓 伊藤) 近藤 真理江(旧姓 福井)
原岡 路子(旧姓 市川) 福井 義隆
斎藤 和之 増野 建一
大野 敏行 高橋 久雄(旧姓 久保)
小杉 茂美 宮下 日出夫
橋本 緑郎 岩本 富久男
矢口 康文 檜森 兄元



鎌田 昭一

(東高16回生)

「函館においての際は、ぜひお立ち寄りください。」

〒040-0015 函館市梁川町18-23
Tel.0138-56-0479

新規会員の登録と年会費ご協力のお願い

関東青雲同窓会では、総会・懇親会のご案内に、年会費の郵便払込票を同封しています。今後も、より多くの皆様に会員登録していただきをお願いを申し上げますとともに、改めて年会費のお知らせをさせていただきます。同期会開催等で未登録の方がいらっしゃいましたら、何卒、会員登録のお勧めをお願いできれば幸いです。

年会費
1年ごと : 2,000円
5年分一括 : 8,000円
20年分一括 : 30,000円

※郵便払込票は隨時お渡ししています。事務局までお申し出ください。

同期会補助金がご利用になります

関東青雲同窓会では、同期会開催のお手伝いとして補助金をご提供しています。本誌にも掲載しましたように、補助金を利用して多くの期が同期会を開催しています。同期会を通じて同窓会会員を増やすことを目的として始まったこの制度も定着してきましたが、会員増には今一步直結していないのが現状です。誌面をお借りして、再度、ご協力をお願い申し上げます。

- 補助金は、原則として10名以上の同期会開催に対して10,000円。
- 年度に一度のご利用で、次年度への持ち越しあできません。
- 開催報告をホームページ等で掲載しますので、原稿や写真を依頼する場合がありますのでご協力ください。
- 申請は、事前に事務局までご連絡ください。

当会のWebサイトでは、様々な活動報告を掲載しています。 <http://kantouseiun.com/>

会長挨拶、会則、過去の総会開催概要などを掲載しています。

最新のイベント開催の告知や、報告などを大きく掲載します。

直近の総会、納涼会、新年会の報告がたくさんの写真と共に掲載されています。



関東青雲同窓会ではFacebookページも絶賛公開中!
速報や、ここだけの情報も載せていますよ!

Facebookはやらないわあ…
というあなた! 大丈夫です!
とりあえず見るだけでもOK。
ついでにまだ知らない同期に
教えちゃいましょう!



「同期会」の開催告知をご覧いただけます。また、過去の開催報告も掲載しています。

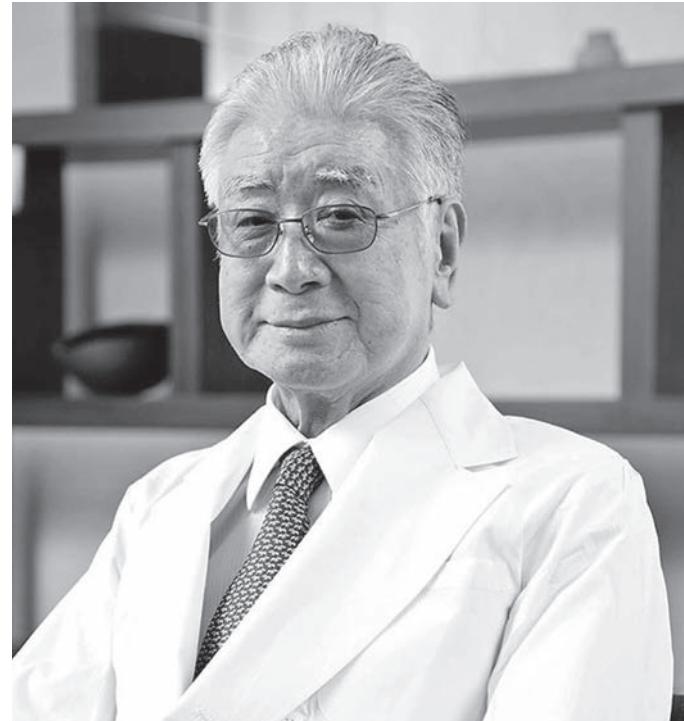
関東青雲同窓会 中村隆俊名誉会長が 『戸田市名誉市民』(第1号) 『第15回 渋沢栄一賞』を受賞!

Honorary Citizen of Toda City & Eiichi Shibusawa Award

関東青雲同窓会の中村隆俊名誉会長(戸田中央医療グループ会長)が、永年にわたり戸田市の医療・介護・福祉・保健分野に多大なる貢献を果たすとともに、スポーツ分野(ボート、ソフトボール、ラグビー)、環境分野(花と緑のまちづくり)、防犯分野(蕨・戸田警察官友の会・わっとパトロール)、雇用分野(グループ内雇用)、社会奉仕分野(戸田ロータリークラブ・献血運動)など、数多くの分野において戸田市の発展に寄与した功績により、昨年10月1日、「戸田市市制施行50周年記念式典」にて『戸田市名誉市民』(第1号)として顕彰されました。

さらに、中村名誉会長は、近代日本の産業経済の発展に大きく貢献した渋沢栄一氏の精神を受け継ぐ企業活動と社会貢献を行なっている全国の経営者へ贈られる『第15回 渋沢栄一賞』の受賞者に選出され、去る2月14日、大宮ソニックスティで開催された表彰式にて表彰されました。尚、受賞理由については、“優れた経営面”として、①首都圏に114カ所の関連事業所を展開し(平成29年2月末現在)、国内最大級の医療グループへ成長させたこと、②地域包括ケアで求められる医療・介護のトータルヘルスケアネットワークを各地で形成したこと、③ブレストケアセンター・腎センター・心臓血管センターなど特徴ある専門科の設置や、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の埼玉県内初導入などを通じ、医療水準の向上に努めたこと、また、“社会貢献”として、④青少年育成基金の設立を目的に個人で多額の寄付を行ったこと、⑤戸田市と共同で「ピンクリボンウォーク

IN戸田市」を開催し、乳癌検診率を大幅に引き上げたこと、⑥地域の献血活動やスポーツ振興に尽力をしたこと等が挙げられました。



プロフィール

昭和2年10月25日、北海道瀬棚郡瀬棚町(現・久遠郡せたな町)に3男4女の次男として生まれる。昭和25年、北海道大学医学科を卒業後に上京し、東京医科大学にインターンを経て入局。昭和37年8月に戸田中央病院(現・戸田中央総合病院)を開設し、院長に就任。現在、戸田中央医療グループの会長として一都四県下に28の病院と6つの老人保健施設のほか、特別養護老人ホーム、クリニック、健診センター、訪問看護ステーションなど、合計114カ所の関連事業所を展開(平成29年2月末現在)。平成12年、勲四等旭日小綬章。平成28年、戸田市名誉市民(第1号)。平成29年、第15回 渋沢栄一賞を受賞。《市中2回生／関東青雲同窓会名誉会長／北海道道南会 顧問／はこだて観光大使》



「戸田市市制施行50周年記念式典」にて、神保市長より戸田市名誉市民の顕彰を受ける(戸田市文化会館にて)



「第15回 渋沢栄一賞」表彰式にて、埼玉県・上田知事(左から2人目)、深谷市・小島市長(右)、渋沢栄一記念財団・渋沢理事長(左)より表彰を受ける(大宮ソニックスティにて)



関東青雲同窓会 総会・懇親会のご案内

総会です!

「青雲の志」のもと、想いを通わせ、旧交を深める場です。

今年の幹事期は35回生／昭和60年卒。東高生ならではの企画満載で準備を着々と進行中。恒例の豪華景品が大勢様に当たる抽選会も実施。

会場は交通アクセス良しの大手町駅直結。

同窓会に参加していない皆様も、同期の方をお誘いのうえ、是非ご参加を。

平成29年5月27日(土)

受付開始 17:00 総会開始 17:30 懇親会開始 18:00

大手町サンケイプラザ 4階 401室

地下鉄各線「大手町」駅直結(A4・E1出口) JR「東京駅丸の内北口」徒歩7分



【東京駅からの徒歩順路】

- ①JR東京駅で降りましたら、「丸の内北口」改札に向かってください。
- ②改札を出てすぐの交差点を渡り、ビル沿いに道なりに進んでください。
- ③次の交差点を渡って右折してください。
- ④直進、信号3つ目 左側ガラス張りの高層ビルが
東京サンケイビルです。(赤い大きなオブジェが目印です)
- ⑤大手町サンケイプラザの会場は2~4階になります。
1階よりエスカレーターでお上がりください。